

夢を現実にするため、
資金づくりに多くの方々から
ご協力を必要としています。
よろしく申し上げます。

後期 3 年(第 3 期:2020 年度~2022 年度)の計画の概要

2020 年度は、10 年計画の最終期・後期 3 年の始まりの年度。

当協会のグループホームの基本的な特徴「重度の障害あっても暮らせる。ずっと暮らせる。」などに、これから開設するグループホームの特徴「入居前からホームの居室を占有してホームで暮らす経験を積む期間を長めに設定する。」など~が加わったグループホームを後期 3 年に 3 軒以上開設する計画です。

現在、後期のグループホームの開設にむけ具体的に動いています。

○2021年度中の開設をめざす。

○入居定員が 5 名程度の男性と女性のグループホームをそれぞれ 1 軒ずつ。

○場所は、西は浅香山駅、東は北花田駅、南は三国ヶ丘駅や堺東駅の徒歩圏内。

※2021年度中に2件の開設が実現できれば、2022年度中にもう 1 軒、男性のグループホームの開設もめざすことも考えたいと思っています。

また、10年計画の後期3年間には、生活介護事業所の拡張による通所利用者の定員増や新たに1か所生活介護事業所を開設することも視野に入っていました。新型コロナウイルス感染防

止のため密を避けれるように拡張が急がれること、また、同時に、現在の2か所とは違った特色の活動内容の通所事業所を求める声があることから、拡張と新設共に進める検討も始めたいと思っています。

5000万円が目標

これは、4軒のグループホームを作れる金額です。

後期3年間の計画のベストな形での実施、そして、更に、2023年度からの新10年計画での5軒を超える新規グループホームの開設や様々な事業の着手を目指したいと思っています。

ぜひ、これからの自立支援協会を、これまで以上にバックアップしていただき、多くの夢を実現したいと思っています。どうか、お力添えをよろしくお願いいたします。

金融機関の融資を受けグループホームを建設した場合、返済は入居者の家賃によって無理なくできます。しかも、政府系金融機関※の融資を受けられた場合、返済は融資を受けてから2年間の猶予があり、建設中から返済が始まらない利点がありますので、それがベストです。しかし、そのためには、建築費の2割の自己資金が必要です。具体的には、1軒におよそ6000万円がかかる建設費用の2割=1200万円の自己資金が通常の事業の運転資金以外に必要なになります。

制度がない中で重度障害者の地域での暮らしを広げていくことが当協会の使命であることから、当協会の通常の事業収入から建設のための資金を蓄えていくことは、現状では、とてつもない年数がかかり、ホーム入居を希望する人全員が20歳～30歳代で入居することを実現できません。

そのような認識の下、10年計画の策定当初から寄付を呼びかけさせていただき、グループホーム光の開設計画の時からは、5000万円という目標を掲げ、寄付を募ってきました。しかしながら、まだまだ目標にはほど遠いのが現状です。

みなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

新築のグループホームにこだわる理由

- 入居者一人一人が落ち着いて暮らせる間取や性能(防音、振動の緩和)。
- 十分な数のトイレや洗面所、広いリビングの確保。
- ずっと住みたいと思える環境(個室の広さ、バリアフリーへの対応)。
- 大地震が発生しても暮らし続けられる耐震性。

などを満たすには既存住宅ではまず不可能だからです。

ご協力いただける方は…

○銀行口座への振込の場合

～ご都合よい方の口座をご活用ください～

りそな銀行 堺東支店 普通預金 6706364

社会福祉法人自立支援協会 理事長 棕田英和

ゆうちょ銀行 四一八支店 普通預金 9491477

社会福祉法人自立支援協会

○「郵便振込用紙(払込取扱票)」を使用

法人本部までご連絡いただきましたら、郵送にてお届けさせていただきます。※この用紙をご利用いただくと手数料は不要(法人負担)でお振込みいただけます。

○応援する会(後援会)に入会

法人本部までご連絡いただきましたら、郵送にて申込用紙をお届けさせていただきます。

※毎月の口座引き落としです。金額は任意です。

